

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年12月10日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670500182
法人名	有限会社うれし舎
事業所名	グループホームうれし舎
所在地	〒896-0078鹿児島県いちき串木野市生福6303-9 (電話) 0996 (32) 5061
自己評価作成日	平成27年10月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成27年11月7日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- 周囲を田畑に囲まれ、四季の移ろいを常に身近で感じれる
- ご利用者様との常時密着なコミュニケーション
- 制約や拘束の無い明るく開放的で自由な雰囲気
- ご利用者様視点によるサービスの常時提供

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 当施設では、看取りの実績が3件あり、重度化や終末期に向けた事業所指針を掲げ、利用者の身体状況に応じて段階的にターミナルケアに関する意向の確認を行いながら事業所として出来る範囲で看取りに取り組んでいる。看護職員がいない為、医療連携については職員一人一人のスキルが必要とされるが、チームワークが十分に図られており、緊急時のフォローなど連絡・報告を密にとりながら、全員でカバーする事で、自信をもった支援が実践出来ている。看護体制が構築出来ればさらに充実した幅広いサービスが提供され、支援の強化が期待できる。
- 利用者・家族からのサービス・運営に関する意見の反映についてはカンファレンスを繰り返し行い、情報の共有化を図り業務改善をする事で利用者本位の支援となるように努めている。ケアの課題や改善点については、モニタリングとプランの見直しを行いながら、支援内容について検討し、また、質の高いサービス提供が継続できるように研修会やキャリアアップの講習会に参加し、伝達講習を行う事で、職員のスキルアップにも取り組んでいる。
- 施設が開設し10年が過ぎ、地域社会における事業所のあり方に変化が見られる。地域住民との協力関係も十分に構築され、浸透度や信頼度も高い。地域貢献や行政事業への協力要請依頼等、新たな地域づくりへ向けて取り組む事で、これから益々発展が期待できる施設である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念の共有についてはスタッフが目に付くところに掲げている。「ご利用者が自宅で生活しているのと同じような気持ちで生活する」をモットーに、身体的・精神的ケアを行うようにスタッフ間で共有し実践に繋げている。	「利用者が住みなれた土地で自分の家にいるのと同じような気持ちで日常生活が送れるようにする」を理念とし、事業所としての目標・計画も変えながら、地域密着型サービスとしてのケアのあり方について職員会議等で唱和する事で振り返り、意義を共有し実践に生かせるように取り組んでいる。理念については事務室やリビングに掲げる事で意識づくりに努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	敬老会を初めとした行事の中で、慰問等の交流がある。地域公民館長様との交流を始め、福祉相談員の方等状況に応じて地域行事への参加をしている。	自治会に加入し地域の敬老会やさのさ祭り、冠嶽神社の清掃活動等の参加や、季節行事のクリスマス会や夏祭りを行う等、地域との関わりを深め、中学校の職場体験や保育園児の訪問等によって地域の一員として日常的に交流を図っている。日頃から自治会長より声かけや見守り・訪問などの支援が得られ、地域の方々の野菜などの差し入れなど心のふれあう場面も多い。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	施設行事には外部よりボランティアが慰問に来られている。近所の方にも声掛けし参加いただいている。また、地域中学校職場体験の受入も行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月に1回実施している。地域公民館長・民生委員・地域包括支援センター・ご家族代表をお招きし、情報交換や意見を賜りサービスの向上に生かしている。	家族代表、地域包括支援センター、公民館長、民生委員等の参加にて2ヶ月に1回開催している。事業所の活動報告や運営状況、外部評価の報告や行政からの報告など活発な意見交換が行われている。「ころぼん体操」や「徘徊模擬訓練」等の行政事業の活動等、運営推進会議を活かした取り組みによりサービスの質の向上に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	必要に応じて報告・連絡を行っている。協力関係は構築している。	運営推進会議やグループホームの連絡協議会の参加、サービスに関する相談等、日頃から市町村との連携を密にとり、協力関係を構築する事でサービスの質の向上に努めている。行政事業である「徘徊模擬訓練」の地域拠点の要請依頼を受ける等、地域密着型サービス事業所としての評価や信頼度も高い。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会を設置し、玄関の施錠無しを含めた身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会を設置し、月に1回カンファレンスを行い身体拘束に関する正しい理解に努めている。事業所指針により、玄関の施錠、言葉による身体拘束を含めた対応について、日々の支援の中で徹底した意識づけをしながら利用者本位の生活が送れるように心がけている。また、研修会に参加し、伝達講習を行い、現場の職員へフィードバックする事で、スキルアップに努めている。徘徊する利用者については、地域住民の声かけ・見守り支援にて施設安全の強化が図られている。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	TVや新聞での出来事に関心をもち、スタッフ間で話し合ったり、カンファレンスでの話題に取り上げている。勉強会・講演にも積極的に参加している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	個々のスタッフは勉強会等への参加で理解はあるものの、メンバー全員での共有・活用には至っていない。今後カンファレンス等で議題に挙げる必要がある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約締結時に重要事項説明書を用いて、文章や口頭で十分な説明を行い、理解と納得を図っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ケアプラン作成時やモニタリング実施時、またご面会時に近況報告を行い、ご意見・ご要望を伺っている。	行事や面会、運営推進会議などを利用し、利用者・家族から運営サービスに関する意見や要望について把握する機会を多く作っている。遠方のご家族に対しては身体状況の報告と共に意見の抽出を行い、問い合わせについては、迅速に対応している。課題については、連絡帳や申し送り、カンファレンスを通して職員で共有し、業務改善に努めながら常にサービスの向上に取り組んでいる。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎日の申し送り・月1回のカンファレンス等でスタッフの意見や提案を発表する場を設けている。	代表者や管理者はカンファレンスや各種会議の場、業務外の時間等を利用し、運営に関する職員からの意見や提案を聞く機会を多く設け、勤務変更や個別相談等についても臨機応変に対応している。また、働きやすく気軽に相談できる職場環境作りにも努めている。業務改善により職員からの意見が反映されるよう取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者や管理者はスタッフの要望等を聞いてくれ、相談しやすく働きやすい環境である。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>スタッフの経験に合った勉強会や研修の受講機会やキャリアアップに繋がられる資格受験への奨励を積極的に行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者並びに一部職員の交流はあるが、全体を通して交流しているとは言えない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご入所時やケアプラン作成時にご本人様やご家族から要望等伺い、常に「寄り添いケア」を心掛け、ご本人様の安心を確保するための関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご本人様の発言に傾聴し寄り添い、関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご利用前のアセスメント時に、ご利用者様・ご家族・ケアマネージャーから状況の詳細を聞き、対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家族的な雰囲気が出るようコミュニケーションを積極的に取っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご面会時に近況報告をし、意見交換やご本人様の要望・意見等を伺い、ご家族のご協力もいただきながら支援関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人やご友人の面会やコミュニケーション良好な方は外出し、馴染の方との関係が保てるよう支援している。	利用者の生活歴や家族背景・地域との関係性等を本人・家族等からのインタビューやアセスメントによって把握し、馴染みの人や場所とのつながりが途切れないように家族と協力しながら地域行事参加や買い物等の支援に努めている。地域住民からの日頃の声かけ・見守りによる連携によって、地域社会の中で一緒に生きているという認識を常に実感できるように取り組んでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人一人が孤立することの無いようにレクリエーション等積極的に声を掛けて楽しい場を作るよう心掛けている。また、ご利用者様同士の関係を把握し、混乱の内容にスタッフが間に入って支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所された後もご本人様やご家族が気軽に立ち寄れるような関係作りをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケアプラン作成時に伺ったご要望等計画に織り込み、毎日の生活に生かせるようにしている。	利用者の個別的な思いや希望、意向の把握に努められるよう、表情・しぐさ・発言に留意しながら支援している。意思疎通が困難な場合でも、家族や職員が情報の共有やカンファレンスを行いながら連携を密にする事で、利用者本位のサービスが提供出来るように取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご入所時に於けるアセスメント作成時にお伺いした内容をスタッフ間で共有し、ご本人様が安心できるようなサービスの提供に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	心身状態に異変があると、日々の過ごし方やスタッフの対応・他利用者様への影響もあるので、日々の現状把握に努め、月1回のカンファレンスや日々の申し送りで全員共有するようにしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプラン作成時にご本人様・ご家族に意見を賜り職員同士でも意見を出し合っている。ご利用者様の現状に合わせてその都度カンファレンス等で話し合う機会を設けている。	本人・家族の意向や希望を踏まえた上で、主治医や関係者との身体状況に関する意見交換やカンファレンスによって現状に即したケアプランをチームで作成している。ケアの課題を分析し、的確なサービス内容により、本人・家族の期待する支援となるよう取り組んでいる。モニタリングを定期的に行いながら、必要に応じてプランの見直しも行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の個別記録への記入とその内容を基にしたカンファレンスで以降の実践やプランの見直しに生かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご利用者様のニーズに対応できるよう外食や遠足等の外出を頻回に行い、柔軟な対応をしてサービスの多機能化に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域での外出・病院受診・買物等、ご利用者様の心身の力を発揮できるよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	病院受診については急変時を除き、ご入所前からのかかりつけ医を重要視し、事業所との関係を築きながら適切な医療を受けられるように支援している。	かかりつけ医の病院受診については、本人・家族の希望に沿った支援が図れるよう医療連携や情報共有を密にとりながら、適切な医療支援が受けられるように取り組んでいる。受診経緯や内容については、家族はもとより各関係者へ的確に報告する事で、緊急時の対応についても安心・安全なサービスが提供できるように努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>現在、訪問看護を受けておられるご利用様はいらっしゃらないが、定期受診時現状の状況説明をしている。</p>	/	
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入退院時はかかりつけ医と連絡を密に取りながらケアマネジャーが対応している。ワーカーはお見舞いに伺い、声掛けをして安心していただくように努めている。</p>	/	
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>早目のアプローチを心掛けている。医療行為が出来ない事もあり、他施設や医療機関への転移等も含め、ご利用者様並びにご家族の思い、かかりつけ医等専門家の意見も含めた形でチームとして支援に取り組んでいる。</p>	<p>重度化や終末期に向けた対応については、事業所方針を明確化し、契約時に本人・家族の意向や希望を踏まえた上で事業所の出来る支援内容を説明し、同意書をている。身体状況の変化に伴い、その都度ターミナルケアに関する確認を行いながら、必要に応じて入院・入所の対応を図っている。看取りについては、3件の実績があり、事業所の支援体制のもと、主治医・協力医との連携を密にとりながら、本人・家族の意向に沿った人生の最期を迎えられるようチーム一体となり支援に取り組んでいる。看取りに関する勉強会や研修会を実施・参加する事でスキルアップとサービスの向上に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時の対応はスタッフ間で共有できている。異状時はケアマネージャーに即報告をし指示を仰ぐ。</p>	/	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に2回（半期毎に1回）避難総合訓練を行っている。</p>	<p>火災・地震をテーマに夜間想定での避難訓練を消防署立会いにて年2回開催している。全職員が災害支援に関する知識を身につけ、自治会長をはじめ地域住民の協力体制も構築されている。救急隊員によるAEDや心配蘇生等の研修も行われており、消防設備の設置や災害時の備蓄についても完備されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉遣いには気を付けている。ご利用者様の人格を尊重し、人生の先輩として尊敬の念を忘れないようにしている。用件の無い時は勝手に居室に入室しないように気を付けている。	利用者の尊厳と誇り・プライドを傷つけることがないよう、カンファレンスや研修会等を定期的に行いながらスキルアップに努めている。また、記録物の保管や個人情報の取り扱い、私物の使用、入浴・排泄支援時についてはプライバシーの保護に十分配慮しながら支援を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者様の表出が出来るような穏やかな声掛けをし、自己決定が出来るように働きかけるようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様の気持ちを優先し、無理強いの内容な支援を心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	入浴時の爪切り・髭剃りをしている。定期的な散髪も施行している。季節や外出時の身嗜みもご利用者様の好みを聞き決定している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べられないものは代替食を準備する。食事を楽しみにしていただき、完食してくださるよう盛付も工夫している。配膳・下膳も一緒にしている。	利用者の食事内容については、嗜好や食事形態、アレルギー、服薬に対する禁忌の食べ物の把握に努めながら、食の安全に取り組み、季節の食材や旬の野菜を使用しながら利用者の希望に沿った食事の提供を行っている。食事の後片付けや準備等、利用者とは会話を楽しみながら有意義な時間を共に過ごす事で食事を楽しむ事ができるように支援している。行事食や外食等の支援についても家族と協力しながら、視覚からも食事が楽しめるように取り組んでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスの数値化はしていないが、バランスが取れるよう菜食中心に動物性蛋白質ばかりにならないようにしている。水分摂取については、表にして時間ごとにチェックし記録化している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの誘導と実施。夜間は洗浄後義歯洗浄液にて消毒保管をしている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の状況に合わせて自立支援に向けて行っている。カンファレンス等での検討会を随時行っている。	利用者の生活習慣や排泄パターンを把握した上で、身体状況に応じた排泄支援に取り組んでいる。排泄の失敗や失禁者については、羞恥心やプライバシーに配慮した声かけと支援に努めている。オムツ使用の軽減に向けて、日中はトイレ誘導を促し出来る限り残存機能を生かした排泄の自立支援が出来るようにしている。排泄のコントロールについては、実施記録を共有しながら必要に応じて主治医との医療連携を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取を心掛け、一人一人の排便パターンを把握している。排便困難な時はかかりつけ医の指示を仰ぎ、服薬を処方してもらっている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週に3回(隔日)の入浴を実施しているが、声掛けをしてご利用者様の意向に合わせての支援をしている。	入浴については、週に3回午前中に行っているが、生活スタイルや本人の希望があれば、曜日変更や時間帯の変更の対応も行っている。プライバシーに配慮した個浴対応で、身体状況に応じて全身清拭や部分浴、軟膏塗布等も行っている。近くの温泉に出かけたり、入浴剤の使用にて、日々の入浴を楽しめるよう取り組んでいる。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室で午睡をしたい方には温度調整をし、その時の状況に合わせて行っている。		
47		○服薬支援  一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	受診ファイル等でスタッフ全員が理解し、2人で確認の上服薬をしていただく。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	各々のご利用者様が出来る事をしていただいている。調理のお手伝い・洗濯物干し・清掃等お声掛けをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>スタッフとドライブや買い物等の外出に出掛けたり。ご家族との外出もある。</p>	<p>遠足、花見、初詣、さのさ祭りや敬老会の参加等、家族や地域の人々と協力しながら外出支援に努めている。また、天候や体調に配慮しながら日常的に散歩や買い物、ドライブなども行っている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご自分で保管されておられる方もいらっしゃるが、ご家族からお預かりしている物も含めてスタッフが管理している。欲しいものがあられる時は、預り金にてスタッフが購入することもあるが、ご本人様と一緒に行く事もある。</p>	/	
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご利用者様より希望があれば電話を掛けられたりされる。</p>	/	
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用スペースには季節の花を活けたり、季節の装飾物を展示している。また、ご利用者様が描かれた絵や習字を展示したりしている。</p>	<p>施設内は木材をふんだんに使われている為家庭的なぬくもりを感じ、緑豊かな静かな環境の中で穏やかに生活を送っている。リビングや渡り廊下はゆったりと移動できる十分なスペースが確保され、各階に置かれたソファはくつろぎの場となり、ウッドデッキでは四季の移り変わりを肌で感じながら外気浴が楽しめている。施設の壁には、季節感のある装飾物や利用者の作品が展示され、日当たりも良好で、中二階のスペースを利用した収納や洗面所に置かれた温かいおしぼり、除湿機・空調機器による施設内環境への配慮等、利用者が居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用フロアにソファがあり、ご利用者様同士でお茶を召し上がったり会話を楽しまれたりされる。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	寝具や家具等、今まで使われていたものを持参していただいている。慣れ親しんだものをご利用者様も居心地良く過ごしていらっしゃる。	居室は、4層構造の防災用の壁と2重ガラスによって安全が確保され、木材の使用が多い事で、温かみを常に感じられる。利用者の私物やなじみの品物を家族と共にレイアウトする事で自宅と変わらない居心地のよい居室となるように配慮している。ベット・エアコン・クローゼットが完備されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室・フロアは歩行の為に妨げにならないように整理整頓されている。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	目に入る位置に理念を貼り、日々目標達成に向け努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	招待があれば行事に参加している。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域貢献としては、冠嶽神社でボランティアでの清掃等行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月に1回運営推進会議を行って、活動報告をメインに地域代表の方より地域の行事等の情報収集や活動報告へのご意見を賜り、サービス向上に繋げている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	介護保険の更新時に市役所へ行くが、密に連携を取っているとは言えない		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	ご利用者様は自由に施設内を行き来でき、玄関も施錠は無く外へ出る事が可能。		
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設内での虐待は無いし、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	制度に関してはご家族に任している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に説明をし、質問等あればその都度答えている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご家族の意見等、カンファレンス等で議題にし、問題解決に向けて反映させている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月1回開催のカンファレンスで職員の意見を聞き、反映している。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>労働時間に関しては、超勤をしないようなシステム作りが確立しており、ご利用者様の急変時等イレギュラーな場合を除いて超勤は無い</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修参加の呼びかけ・案内等。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>積極的に交流しているとは言えない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用前のアセスメントでご家族と話し合い、ご利用開始後ご本人様からお話を伺い、安心を確保するための関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族からお話を伺い、質問等にもお答えし関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご相談を受けた場合、まず計画作成担当者に報告。良い支援をしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に笑ったり・怒ったり・悩んだりという事を分かち合っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>イベント等には案内をし、ご参加していただいている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面会もある</li> <li>・ご利用者様が行きたいと言われた場所へは可能な限り対応している。</li> </ul>		
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>職員側に入るような声掛けをし、レク等に参加していただいている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>ご入院先や他施設への転移手配をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	毎月1回のカンファレンスで共有化している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご利用前にご本人様・ご家族から情報提供を頂き把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎月1回のカンファレンスで現状について共有化し、把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様・ご家族との話し合いやカンファレンスでの意見を反映し、計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	24時間体制で記録している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	変化する身体機能に応じ、その都度対応しご本人により良いサービスを心掛けている。ご家族の要望にもお応えしている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 神社境内の清掃を行っている</li> <li>・ 田んぼの畦道を散歩コースに使用している</li> </ul>		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人様が居間まで通院してきたかかりつけ医との関係を重視している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>急な体調の変化や怪我等職員で判断しかねる場合は看護職員に診てもらい対応している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院中、頻繁に病院に訪問し、ご利用者様の現状把握に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>かかりつけ医・ご家族との話し合いに努めている。最終的にはご本人様・ご家族の意思を最大限に尊重。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>応急手当・初期対応の訓練 AEDの使い方について</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防災訓練</p> <p>避難訓練</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	スタッフ間で注意し合ったり、カンファレンスで問題があった時は話し合い再発防止に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	常にご利用者様とコミュニケーションを取れる状況を作り、対話ができるよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	レク参加したい方はしていただき、自室で過ごす方等その人らしい支援を心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	気分転換でファンデーション・マニキュア・口紅等個人でされる方にはしていただいたり、要望はあるがご自身で出来ない方にはスタッフが支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	積極的に声掛けし、お手伝いをいただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	野菜中心のメニューにしている。水分摂取量が少ない方にはスタッフが声掛けし摂取していただいている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後声掛け誘導し口腔ケアをしていただいている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間を決めトイレ誘導している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	体操等で体を動かしたり、水分摂取等予防に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴時間は職員都合になっている。時々、夜間入浴していただくこともある（一部ご利用者）。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々にお任せし、ご自由にお休みしていただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各々の職員が薬局からの薬の説明に目を通して確認し、常に様子観察している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	昔の遊びを取り入れたり、ボール遊びやラジオ体操・散歩等行い、メリハリのある生活を心掛け、スタッフと一緒に自らお手伝いもしてくださる。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ボーリング・カラオケ・温泉東機質が出た時は可能な限り出掛け、職員ではいけない場所にはご家族にご依頼している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>外出時にご本人様から購入の要望があった時預り金を用いて購入している。所持している方もおり、散歩のとき飴を購入したりしてお金を使われている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族からの電話の取次ぎはもちろんのこと、ご本人様からの要望があれば電話したり手紙をお出しする等支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>貼り絵等で季節の演出をしている</p> <p>四季折々の草花を飾り、心を癒していただいている</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共有空間の中にもソファーに座り独りで過ごしたり、他者と会話したりして過ごされる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	寝具・TV等ご自宅から持参していただき、今まで使っていた馴染のものを使っていただいている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	出来る事は可能な限りご本人様にさせていただき、見守り・声掛けをしている。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない